※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３０３６ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代の国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代の国語」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新版　意味から学ぶ頻出漢字 3000」（第一学習社）、「基礎現代文　大学入学共通テスト対策新装版」（尚文出版）、「文学のとびらを開く　近代文学名作選」（明治書院）、「読解を深める現代文単語　評論・小説　改訂版」（桐原書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①まず作品を読んで楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。
②作品を読みながら、我々が生きる現代社会の抱えるさまざまな問題、また自分が抱える問題をより良い方向へ進めていくのに重要な視点は何か、を考えましょう。
③筆者、級友、教員などの他者の考え、自分とは異なる考えに耳を傾けましょう。
④①～③を通して自分の考えを整理し、文章にしたり、他者に伝えたりする練習を重ねていきましょう。
　板書を書き写すだけではなく、気づいたことや授業のポイント等をワークシートに書きましょう。
⑤①～④を通して、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の一つを手にしてほしいと考えています。

## ２　学習の到達目標

・実社会における文章を論理的に読むために必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・文章を批判的に読む力、あるいは深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会とつながろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 実社会における文章を論理的に読むために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、批判的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会とつながったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期中間 | 明日をひらく<br>［教材］<br>考える技術―考えさせない時代に抗して<br>（野矢茂樹） | a：言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br>b[話/聞]：相手の理解が得られるように表現を工夫している。<br>c：積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 明日をひらく<br>［教材］<br>白紙<br>（森田真生） | a：読書の経験が読者の考え方に大きな影響を与え得ることについて理解を深めている。<br>b[読]：エッセイを読み、内容や構成，論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。<br>c：問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 要点をつかむ<br>［教材］<br>水の東西<br>（山崎正和） | a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。<br>b[書]：、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。<br>c：積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 前期期末 | 意見を示す<br>［教材］<br>発想を広げる | a：出されたアイディアのそれぞれの関係を理解している。<br>b[話/聞]：様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。<br>c：アイディアを出したり表現したりすることを通して、アイディア同士の関係をふまえた様々な観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 論理をとらえる<br>［教材］<br>動的平衡としての生物多様性<br>（福岡伸一） | a：主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。<br>b[読]：本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。<br>c：論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 資料を駆使する<br>［教材］<br>インターネット時代の音楽産業<br>（吉見俊哉） | a：本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。<br>b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。<br>c：単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 資料を駆使する<br>［教材］<br>統計資料をもとに意見を書く | a：根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。<br>b[書]：主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。<br>c：意見文の振り返りおよび単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 後期中間 | 情報を比較する<br>［教材］<br>空気を読む<br>（香山リカ）<br>「個人」から「分人」へ<br>（平野啓一郎） | a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。<br>b[読]：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。<br>c：複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 他者と交流する<br>［教材］<br>他者を理解するということ<br>（鷲田清一） | a：個別の情報を一般化したり、一般化された抽象的な情報を具体化したりしている。<br>b[話/聞]：質問をしつつ論理展開を予想しながら相手の回答を聞き，聞き取った情報を整理している。<br>c：得られる情報や効果を意識しながら質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 他者を動かす<br>［教材］<br>説得力のある資料をつくる | a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[書]：自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。<br>c：積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 主張を吟味する<br>［教材］<br>言葉についての新しい認識<br>（池上嘉彦） | a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。<br>b[書]：目的達成のために情報の特徴を生かした表現を考えて工夫している。<br>c：情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 後期期末 | 根拠を吟味して読む<br>［教材］<br>贅沢を取り戻す<br>（國分功一朗） | a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。<br>b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。<br>c：情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 考えを発信する<br>［教材］<br>白<br>（原　研哉） | a：主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。<br>b[読]：目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。<br>c：積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 主張を吟味する<br>［教材］<br>討論をする | a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。<br>b[話/聞]：自分の考えが明確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。<br>c：自分や相手の主張や根拠、理由づけの妥当性を確かめる方法を理解し、積極的に使おうとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 考えを発信する<br>［教材］<br>レポートを書く | a:引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。<br>b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。<br>c:レポートを書くことを通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間